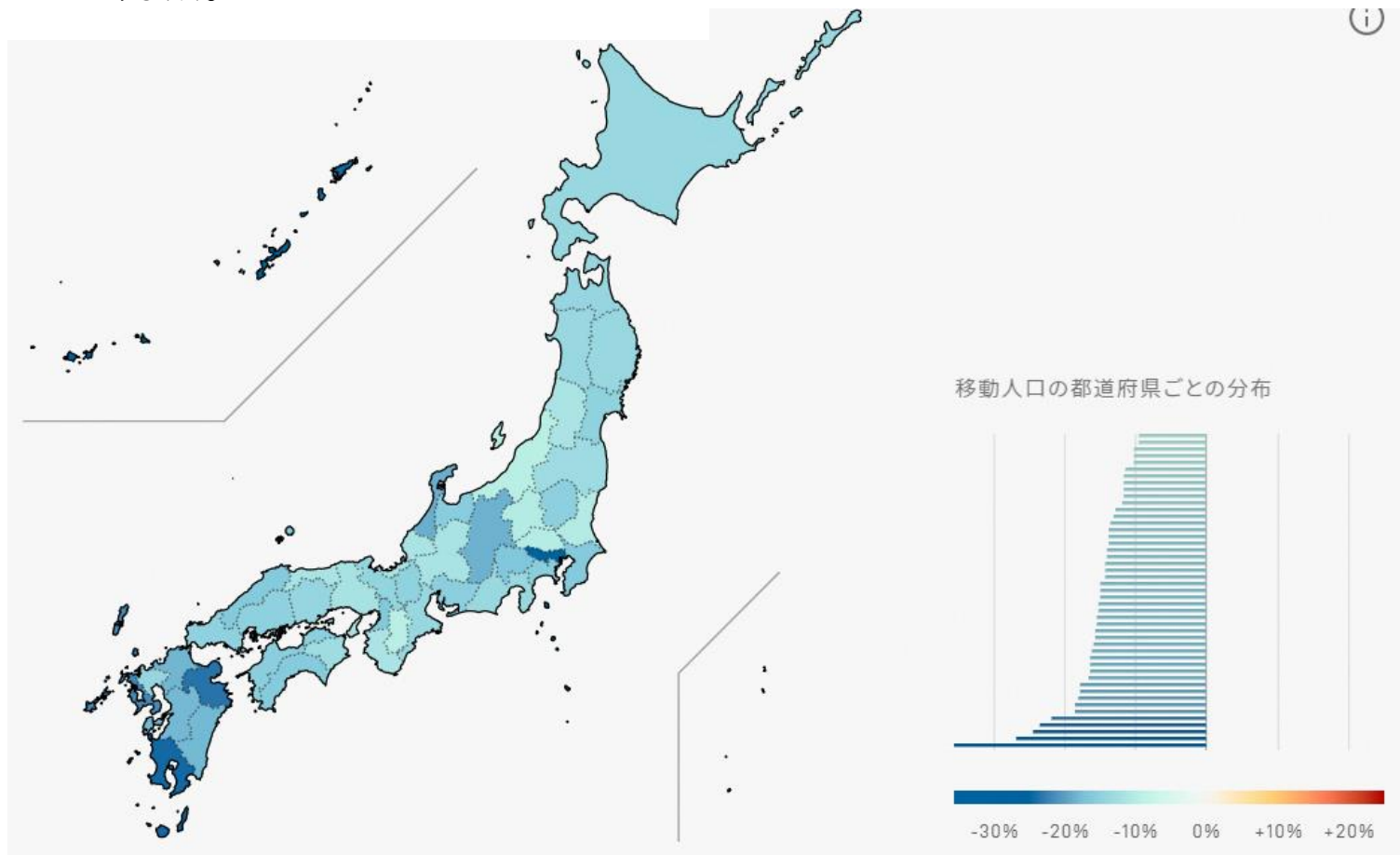


(16) コロナ禍

① 移動人口の動向（都道府県）

- 全都道府県で前年度比の移動人口は低下。
- 東京では27%減。

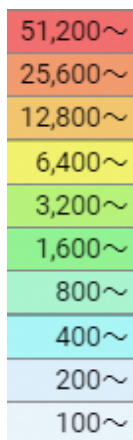
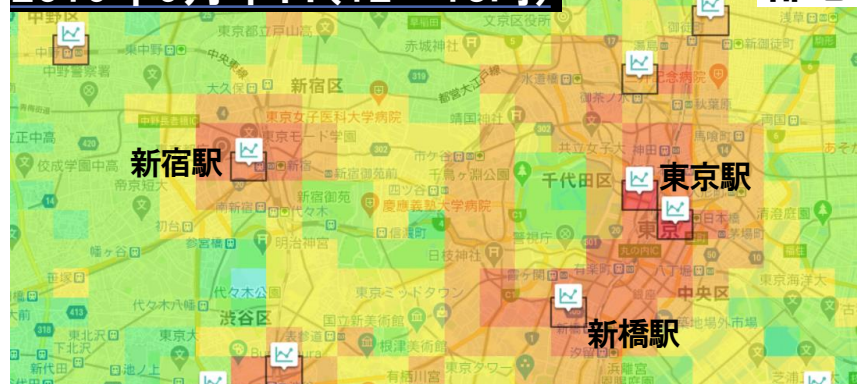


(16) コロナ禍

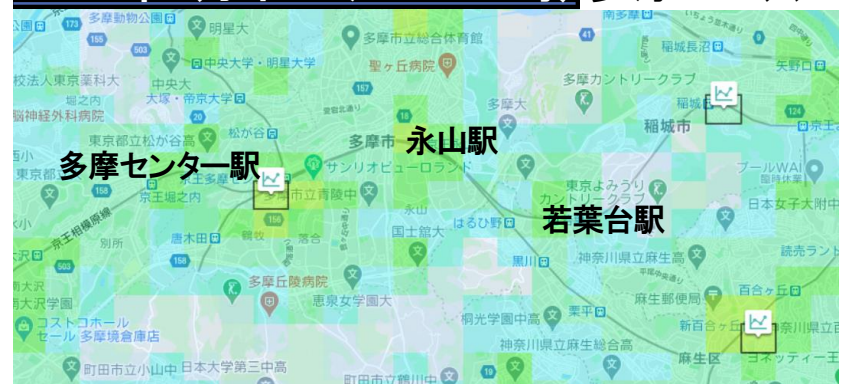
②地域内の滞在人口変化（昼時）

- ・ 都心ではターミナル駅周辺で著しく減少。
- ・ 一方、多摩ニュータウンでは、一部半減エリアもあるが、概ね増加傾向。

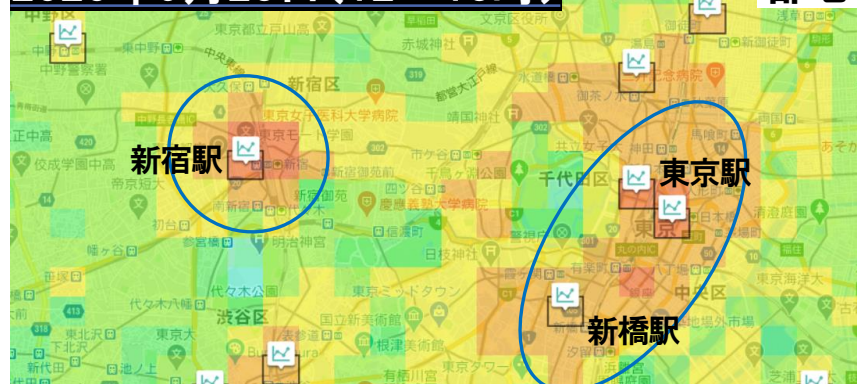
2019年9月平日(12~13時) **都心**



2019年9月平日(12~13時) **多摩ニュータウン**

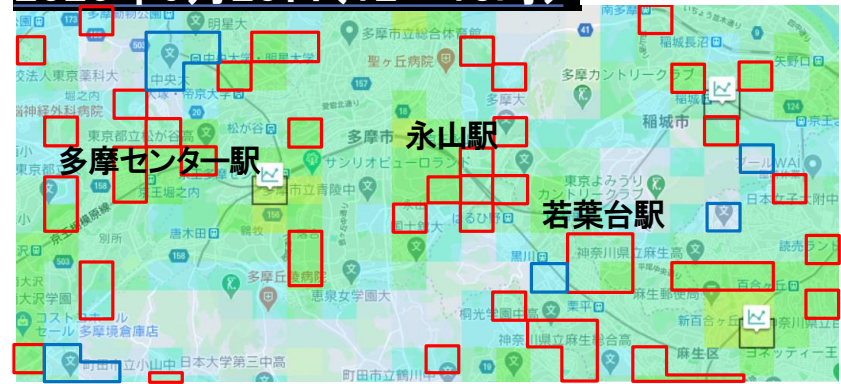


2020年9月23日(12~13時) **都心**



□ 増加
□ 減少

2020年9月23日(12~13時) **多摩ニュータウン**

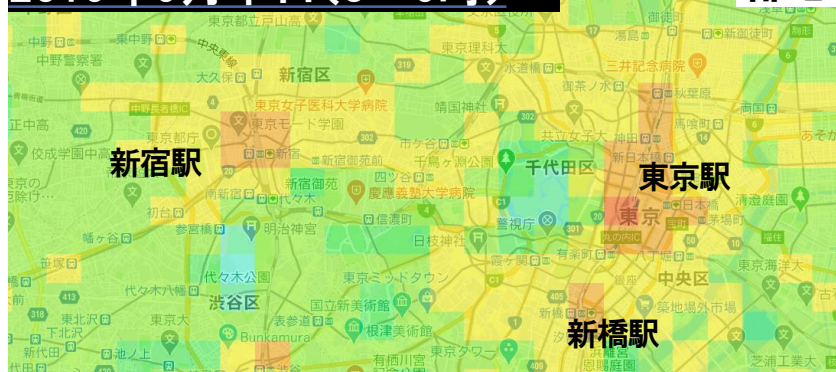


(16) コロナ禍

②地域内の滞在人口変化（朝時）

- 都心では出勤前のため、変化は限定的。
- 多摩ニュータウンでは昼時と同様に概ね増加傾向のため、出勤・通学しないケースの増加が推察される。

2019年9月平日(8~9時) **都心**

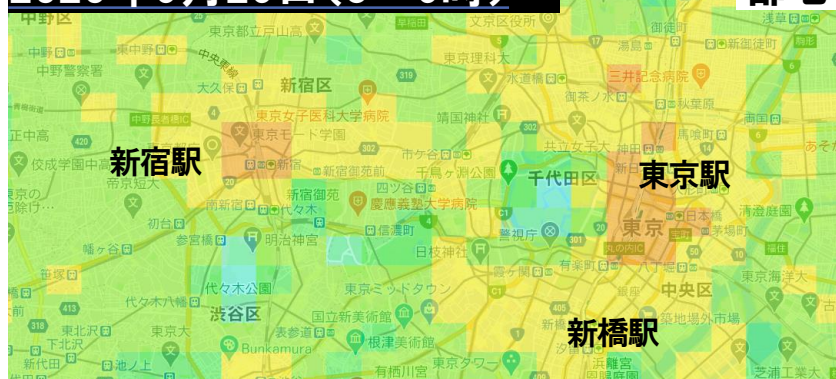


2019年9月平日(8~9時) **多摩ニュータウン**



| |
|---------|
| 51,200~ |
| 25,600~ |
| 12,800~ |
| 6,400~ |
| 3,200~ |
| 1,600~ |
| 800~ |
| 400~ |
| 200~ |
| 100~ |

2020年9月29日(8~9時) **都心**



2020年9月29日(8~9時) **多摩ニュータウン**



□ 増加
□ 減少

(16) コロナ禍

③ 駅周辺の滞在人口変化 (駅重心500m四方の滞在人口)

- ・ 駅周辺では、時間に関わらず市区町村内の滞在人口が前年よりも高い割合で推移している。
- ・ 一方で、市区町村内以外での滞在人口の前年比率は低いまま。

立川駅(全ての時間帯)

※多摩地域では立川駅か町田駅のみの掲載のため、多摩都市モノレールの乗り入れのある立川駅を採用

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



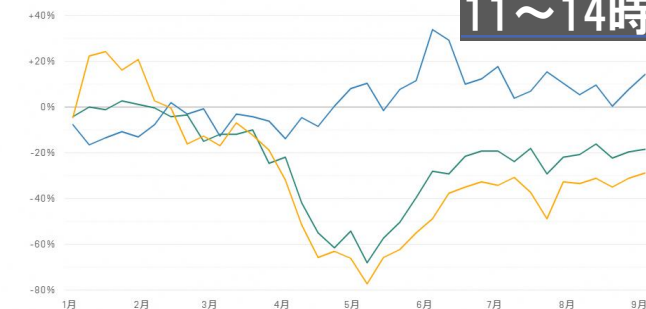
滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外

6~9時



11~14時



滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外

20~24時



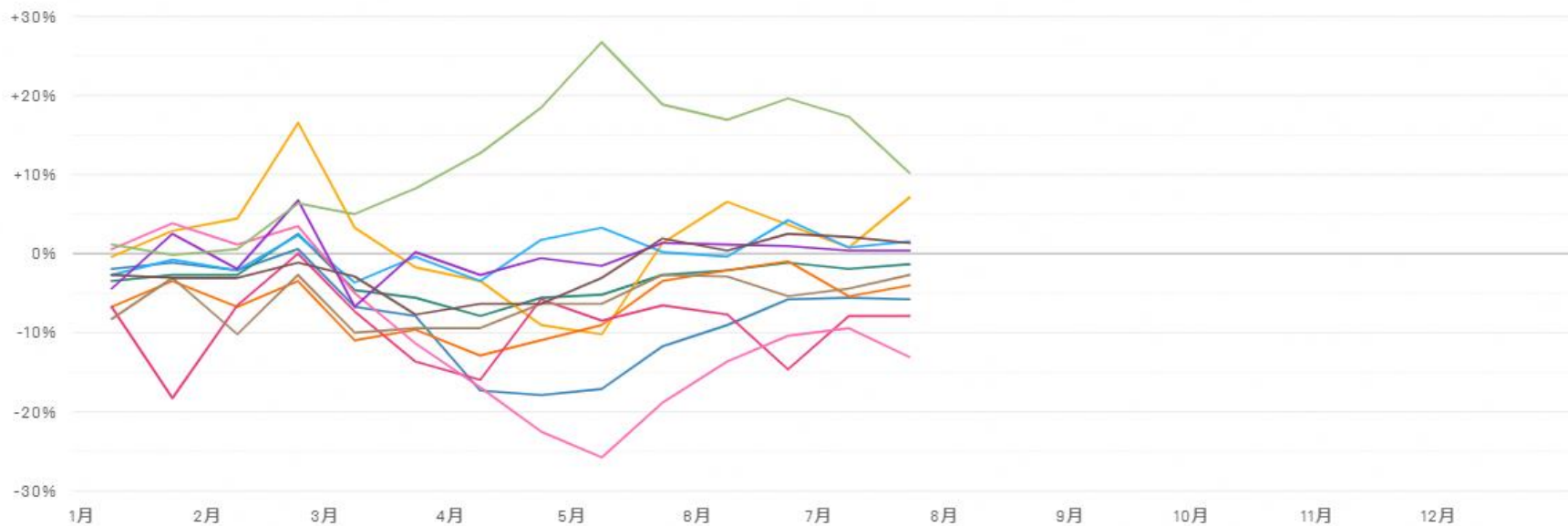
(16) コロナ禍

④ 決済データから見る小売業の変化（関東ブロック）

- ・ 関東ブロックにおける小売業の消費動向は、EC（ネット通販）の需要が高まりつつも、飲食・医療品・各種商品など日常買回り品の需要はコロナ後も維持。
- ・ 一方で、自動車や燃料は低下したまま推移。

支出先の種別:

■ すべての業種 ■ すべての小売業 ■ 各種商品小売業 ■ 織物・衣服・身の回り品小売業 ■ 飲食料品小売業 ■ 自動車小売業 ■ 機械器具小売業 ■ 燃料小売業
■ 医薬品・化粧品小売業 ■ その他小売業 ■ EC



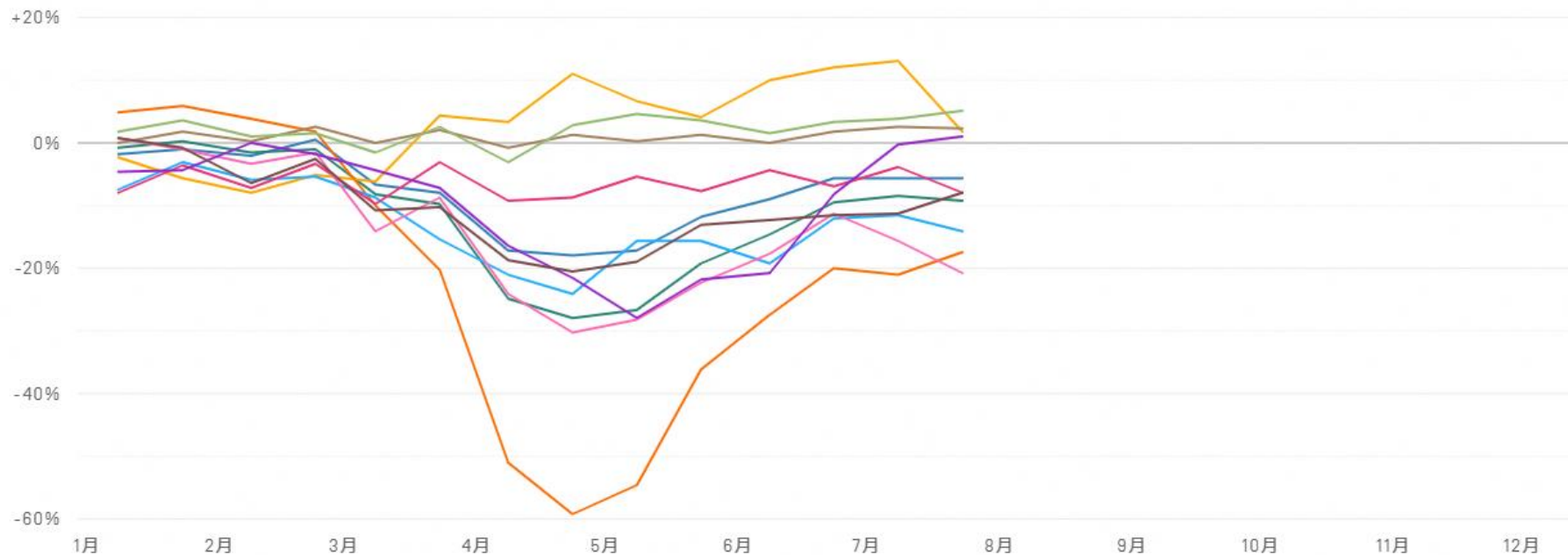
(16) コロナ禍

⑤ 決済データから見るサービス業の変化（関東ブロック）

- ・ 在宅勤務を背景に、ライフライン・インターネット関連の需要が高まり、その他サービスは低下したまま推移している一方、娯楽等が復調傾向。

支出先の種別:

■ すべての業種 ■ すべてのサービス業 ■ 電気・ガス・熱供給・水道業 ■ 外食 ■ 旅行 ■ 医療 ■ 通信 ■ 交通 ■ 娯楽 ■ 宿泊 ■ コンテンツ配信



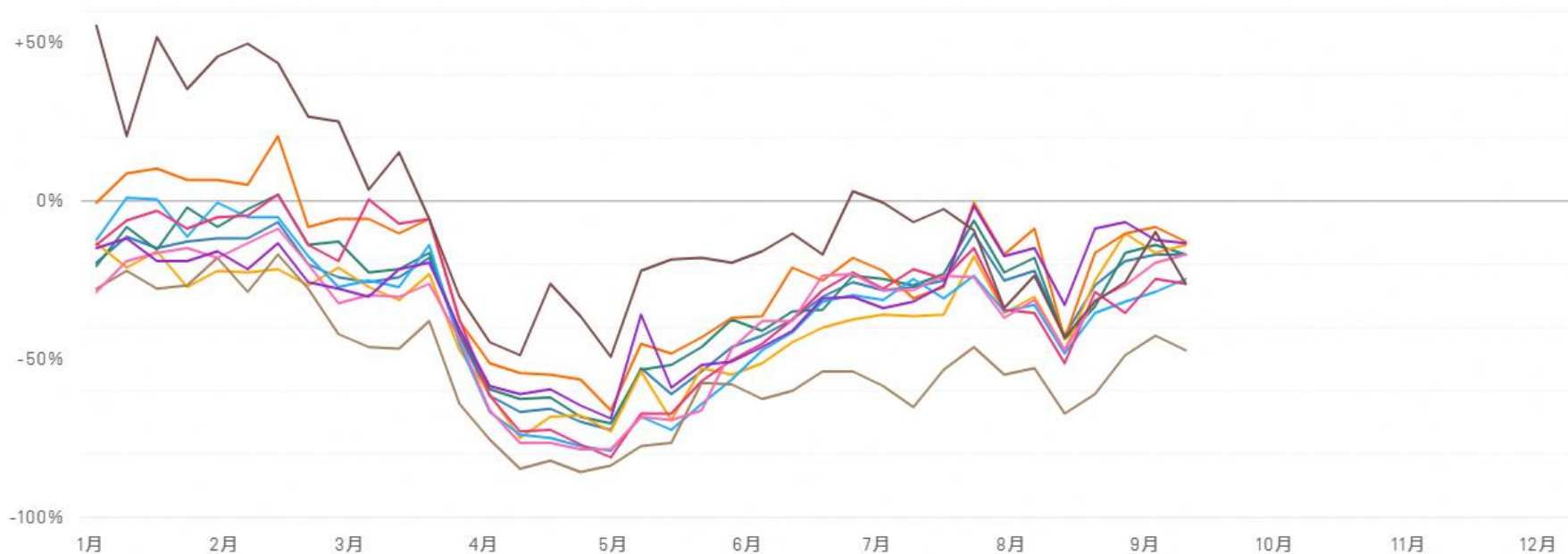
(16) コロナ禍

⑥ 飲食店情報の閲覧数（多摩・町田）

- 飲食店の閲覧は4～5月は著しく低下したのち、現在は復調傾向であるものの、いまだに前年比水準に至っていない。

飲食店のジャンル:

■ すべてのジャンル ■ 和食 ■ アジア・エスニック ■ 中華 ■ 洋食・西洋料理 ■ 肉料理 ■ 鍋料理 ■ 居酒屋・バー ■ カフェ・スイーツ
■ ファミレス・ファストフード



(16) コロナ禍

⑦宿泊（八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市）

■宿泊者分類

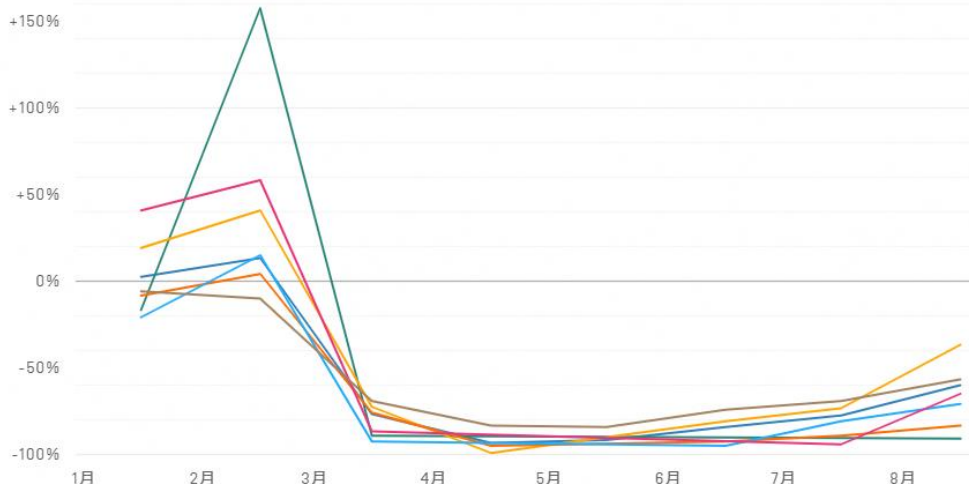
- 宿泊は8月以降復調傾向が見られる。
- コロナ前では男女グループやカップルの傾向が高かった。子ども連れが一瞬増加。

■予約者代表者の居住地

- 予約者は近場からの利用者が前年より倍増。

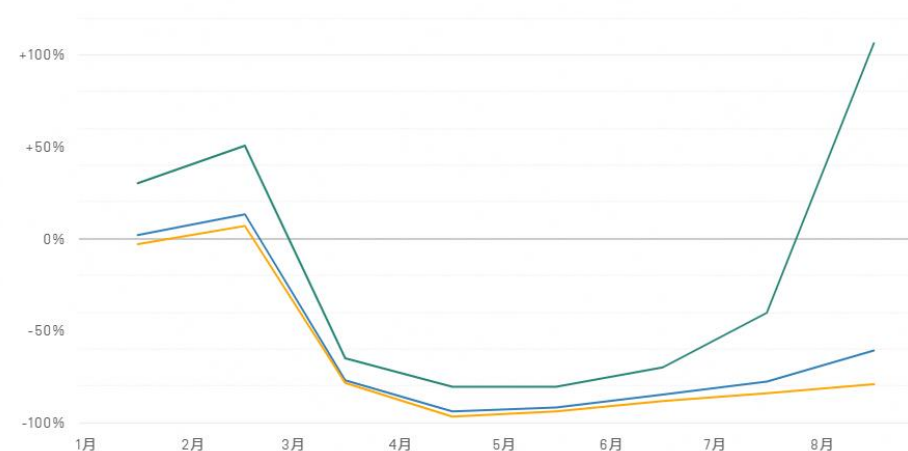
宿泊者の分類:

■ すべての宿泊者の分類 ■ 子ども連れ(子ども = 13歳未満) ■ 男女二人(カップル・夫婦)
■ 女性グループ ■ 男性グループ ■ 男女グループ(子ども含む) ■ 一人



予約代表者の居住地:

■ すべての ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



(16) コロナ禍

⑧移動手段（キーワード検索）

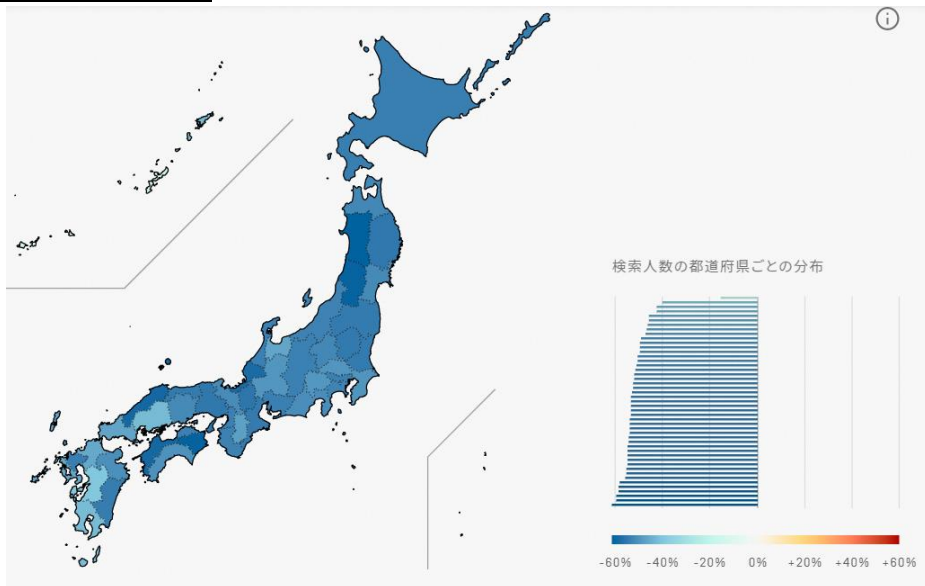
■交通・路線

- ・全国的に40～60%程度検索人数が減少。

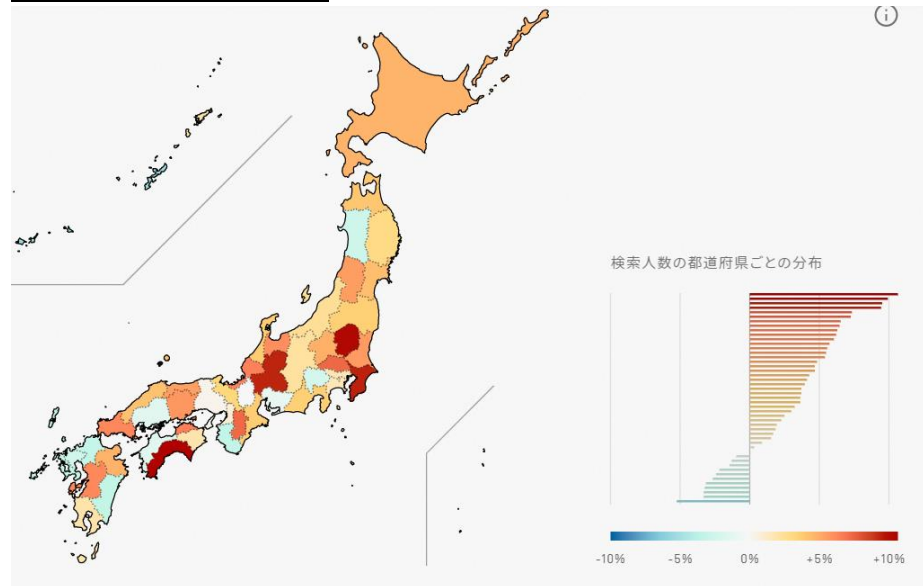
■自転車・二輪車

- ・東京では+2%程度の増加だが、全国的にはさらに検索傾向が高い。

交通・路線



自転車・二輪車



(16) コロナ禍

⑨ コロナ禍により浮き彫りつつある多摩ニュータウンの強みと効果

- コロナ禍では、多くの人々が自宅又はその付近で過ごす時間が増え、住まいの身近な環境や地域の自然資源の重要性が再認識されるようになってきた。
- 下記に現在多摩ニュータウンの強みを挙げ、その効果を想定する。

| 強み | 効果 |
|---------------------------|-------------------------------|
| ● 緑が豊か・遊歩道が多い | 気分転換・リラックスがしやすい |
| ● 都心に通勤が便利 | 必要に応じた出勤等在宅と両立しやすい |
| ● 過密でなく解放感のある都市構造 | 3密を過度に意識した外出抑制をしなくてよい |
| ● 運動やリラックスができる公園が多い | 自宅近くで子どもを連れていける公園を選べる |
| ● 都心に比べ、住宅規模が大きい | 在宅ワークの環境が整えやすい |
| ● オフィスよりは研究や大学等が多い | オフィス機能よりは撤退しにくい |
| ● 多摩地域にはレジャーが多い | 自然豊かな近場レジャーに行きやすい |
| ● ネコサポ等地域密着のサポート | 高齢者もEコマースへ対応しやすい |
| ● 優れた防災性 | 密に弱い災害時を極力避けることができる |
| ● 学校跡地や低未利用地など余剰スペースが多数ある | 災害時における密を避ける避難所生活・仮設住宅供給がしやすい |
| ● 歩車分離が図られた道路基盤に尾根幹線道路の開通 | 公共交通を避けた自転車・スポーツサイクルの需要に応えやすい |